## 6章 図形と式

## 練習問題 1-A

1.

求める点Pの座標を,(x,0)とする.

また、
$$2AP = BP$$
より、 $4AP^2 = BP^2$ であるから  $4\{(x-1)^2 + (0+1)^2\} = (x+5)^2 + (0-2)^2$   $4(x^2 - 2x + 1 + 1) = x^2 + 10x + 25 + 4$   $4x^2 - 8x + 8 = x^2 + 10x + 29$   $3x^2 - 18x - 21 = 0$   $x^2 - 6x - 7 = 0$ 

(x+1)(x-7)=0

よって, x = -1, 7

したがって, 求める点Pの座標は, (-1, 0), (7, 0)

2.

点(3, 0)をA, 点(2, 7)をB, 点(-4, -1)をC, 求める点の座標をP(x, y)とする.

PA = PBより, PA<sup>2</sup> = PB<sup>2</sup>であるから 
$$(x-3)^2 + y^2 = (x-2)^2 + (y-7)^2$$
 整理すると,  $x-7y=-22\cdot\cdot\cdot$ ①

登埋すると、
$$x - 7y = -22$$
・・・①

$$PA = PC$$
より、 $PA^2 = PC^2$ であるから  
 $(x-3)^2 + y^2 = (x+4)^2 + (y+1)^2$ 

整理すると、
$$7x + y = -4 \cdot \cdot \cdot \cdot 2$$

①, ②を連立させて解くと,

$$x = -1, v = 3$$

よって, 求める点の座標は, (-1, 3)

3.

2点を結ぶ線分を3:1に内分する点の座標は

$$\left(\frac{3 \cdot 2 + 1 \cdot a}{1 + 3}, \frac{3 \cdot 5 + 1 \cdot b}{1 + 3}\right) = \left(\frac{6 + a}{4}, \frac{15 + b}{4}\right)$$

である. この点が(1,4)であるから

よって, 
$$a = -2$$
,  $b = 1$ 

4.

3点を頂点とする三角形の重心の座標は

$$\left(\frac{3+(-1)+a}{3}, \frac{1+6+2}{3}\right) = \left(\frac{2+a}{3}, 3\right)$$

である. この点が直線y = x + 1上にあるから, xとyをそれぞれ代入して

$$3 = \frac{2+a}{3} + 1$$

これを解いて、a=4

5.

(1) 直線 AB の傾きは

$$\frac{-2-3}{5-2} = -\frac{5}{3}$$

よって、線分 AB の垂直二等分線の傾きは、 $\frac{3}{5}$ である.

また,線分 AB の中点の座標は,

$$\left(\frac{2+5}{2}, \frac{3+(-2)}{2}\right) = \left(\frac{7}{2}, \frac{1}{2}\right)$$

したがって, 求める直線の方程式は,

$$y - \frac{1}{2} = \frac{3}{5} \left( x - \frac{7}{2} \right)$$

$$y = \frac{3}{5}x - \frac{8}{5}$$

または,

$$3x - 5y - 8 = 0$$

(2) 与えられた 2点を通る直線の傾きは

$$\frac{-3-1}{4-(-1)} = -\frac{4}{5}$$

よって、求める直線の傾きは、 $-\frac{4}{5}$ であるから、

その方程式は

$$y - (-2) = -\frac{4}{5}(x - 1)$$

$$y=-\frac{4}{5}x-\frac{6}{5}$$

または,

$$4x + 5y + 6 = 0$$

(3)2直線の交点の座標は

$$\begin{cases} 3x - 4y - 5 = 0 \\ 2x + y - 7 = 0 \end{cases}$$

を解いて, (x, y) = (3, 1)

また,直線2x - 3y + 1 = 0の傾きは

$$y = \frac{2}{3}x + \frac{1}{3} \pm 0$$
,  $\frac{2}{3}$ 

したがって, 求める直線の方程式は

$$y - 1 = \frac{2}{3}(x - 3)$$

$$y=\frac{2}{3}x-1$$

または.

$$2x - 3y - 3 = 0$$

6.

2点を結ぶ線分を2:1に内分する点の座標は

$$\left(\frac{1\cdot(-2)+2\cdot7}{2+1}, \frac{1\cdot4+2\cdot1}{2+1}\right) = \left(\frac{12}{3}, \frac{6}{3}\right)$$
$$= (4, 2)$$

また、2点を結ぶ直線の傾きは

$$\frac{1-4}{7-(-2)} = \frac{-3}{9} = -\frac{1}{3}$$

よって, 求める直線の傾きは, 3であるから, その方程式は

$$y - 2 = 3(x - 4)$$

$$y = 3x - 10$$

または,

$$3x - y - 10 = 0$$

7.

2 直線2x - 3y + 8 = 0, x - 4y + 9 = 0の 交点の座標は

$$\begin{cases} 2x - 3y + 8 = 0 \\ x - 4y + 9 = 0 \end{cases}$$

を解いて, (x, y) = (-1, 2)

直線kx - 2y + 1 = 0がこの交点を通ればよいので

$$k \cdot (-1) - 2 \cdot 2 + 1 = 0$$

$$-k - 3 = 0$$

よって、k = -3

8.

 $b \neq 0, b' \neq 0$  であるから

$$y = -\frac{a}{b}x - \frac{c}{b}$$

$$y = -\frac{a'}{b'}x - \frac{c'}{b'}$$

(1) 2直線が平行または一致の条件は, 傾きが等しいことであるから

$$-\frac{a}{b} = -\frac{a'}{b'}$$

tab' = a'b

(2) 2直線が垂直の条件は、傾きの積が-1に なることであるから

$$-\frac{a}{b} \cdot \left(-\frac{a'}{b'}\right) = -1$$

$$\frac{aa'}{bb'} = -1$$

$$aa' = -bb'$$

table 5, table aa' + bb' = 0

## 練習問題 1-B

1.

i) m+1=0, すなわちm=-1のとき 2 直線の式は

$$2x - 1 = 0$$
,  $-x + 2y + 2 = 0$ 

となるので、2直線は平行ではない.

ii) m+3=0, すなわちm=-3のとき 2 直線の式は

$$2x - 2y - 3 = 0, -3x + 2 = 0$$

となるので、2直線は平行ではない.

iii)  $m \neq -1$  かつ  $m \neq -3$ のとき 2 直線が平行となるための条件は,

$$2 \cdot (m+3) = m \cdot (m+1)$$

である. これを解くと

前ページの8.より

$$2m + 6 = m^2 + m$$

$$m^2 - m - 6 = 0$$

$$(m-3)(m+2)=0$$

$$m = 3, -2$$

m=3のとき、2直線の式は

$$2x + 4y + 3 = 0 \rightarrow y = -\frac{1}{2}x - \frac{3}{4}$$

$$3x + 6y + 2 = 0 \rightarrow y = -\frac{1}{2}x - \frac{1}{3}$$

となるので2直線は平行である.

m = -2のとき、2直線の式は

$$2x - y - 2 = 0 \quad \rightarrow \quad y = 2x - 2$$

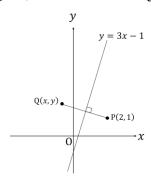
$$-2x + y + 2 = 0 \quad \rightarrow \quad y = 2x - 2$$

となるので2直線は一致する.

よって、
$$m=3$$

2.

点(2, 1)をP, 求める点の座標をQ(x, y)とする.



直線PQはy = 3x - 1と垂直で,

その傾きは $\frac{y-1}{x-2}$ であるから

$$3 \cdot \frac{y-1}{x-2} = -1$$

$$3(y - 1) = -(x - 2)$$

すなわち,

$$x + 3y = 5 \cdot \cdot \cdot 1$$

また, 線分 PQ の中点は,  $\left(\frac{x+2}{2}, \frac{y+1}{2}\right)$ で

この点は直線y = 3x - 1上にあるので

$$\frac{y+1}{2} = 3 \cdot \frac{x+2}{2} - 1$$

$$y + 1 = 3(x + 2) - 2$$

すなわち,

$$3x - y = -3 \cdot \cdot \cdot ②$$

①, ②を連立させて解くと

$$\begin{cases} x + 3y = 5 \\ 3x - y = -3 \end{cases}$$

$$x = -\frac{2}{5}$$
,  $y = \frac{9}{5}$ 

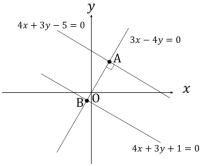
よって、
$$\left(-\frac{2}{5}, \frac{9}{5}\right)$$

3.

2直線に垂直で、原点を通る直線の方程式は

$$3x - 4y = 0$$

である. 図のように、この直線と与えられた2直線との交点をそれぞれ、A、Bとすると、線分ABの長さが求める長さである.



点Aの座標は

$$\begin{cases} 4x + 3y - 5 = 0 \\ 3x - 4y = 0 \end{cases}$$

を解いて, 
$$(x, y) = \left(\frac{4}{5}, \frac{3}{5}\right)$$

点Bの座標は

$$\begin{cases} 4x + 3y + 1 = 0 \\ 3x - 4y = 0 \end{cases}$$

を解いて, 
$$(x, y) = \left(-\frac{4}{25}, -\frac{3}{25}\right)$$

よって

$$AB = \sqrt{\left(-\frac{4}{25} - \frac{4}{5}\right)^2 + \left(-\frac{3}{25} - \frac{3}{5}\right)^2}$$

$$= \sqrt{\left(-\frac{24}{25}\right)^2 + \left(-\frac{18}{25}\right)^2}$$

$$= \sqrt{\frac{24^2 + 18^2}{25^2}}$$

$$= \sqrt{\frac{(6 \cdot 4)^2 + (6 \cdot 3)^2}{25^2}}$$

$$= \sqrt{\frac{6^2(4^2 + 3^2)}{25^2}}$$

$$= \frac{6}{25}\sqrt{25}$$

$$= \frac{6}{5}$$

したがって、求める線分の長さは、 $\frac{6}{5}$ 

【別解】このページの6.の方法を用いる.

点(-1, 1)は,直線4x + 3y + 1 = 0上の点である. 求める線分の長さは,この点と直線4x + 3y - 5 = 0との距離と等しいから

$$\frac{|4 \cdot (-1) + 3 \cdot 1 + (-5)|}{\sqrt{4^2 + 3^2}} = \frac{|-6|}{\sqrt{25}} = \frac{6}{5}$$

△ABCの重心の座標は

$$\left(\frac{x_1 + x_2 + x_3}{3}, \frac{y_1 + y_2 + y_3}{3}\right)$$
 である.

m > 0, n > 0より,  $m + n \neq 0$ であるから,

点P, Q, Rの座標はそれぞれ

$$P\left(\frac{nx_2 + mx_3}{m+n}, \frac{ny_2 + my_3}{m+n}\right)$$

$$Q\left(\frac{nx_3 + mx_1}{m+n}, \frac{ny_3 + my_1}{m+n}\right)$$

$$R\left(\frac{nx_1 + mx_2}{m+n}, \frac{ny_1 + my_2}{m+n}\right)$$

となる.  $\triangle$  PQRの重心の座標を $(g_x, g_y)$ とすると

$$g_x = \frac{\frac{nx_2 + mx_3}{m + n} + \frac{nx_3 + mx_1}{m + n} + \frac{nx_1 + mx_2}{m + n}}{3}$$

$$= \frac{\frac{m(x_1 + x_2 + x_3) + n(x_1 + x_2 + x_3)}{m + n}}{3}$$

$$= \frac{(m + n)(x_1 + x_2 + x_3)}{3(m + n)}$$

$$= \frac{x_1 + x_2 + x_3}{3}$$

$$g_y = \frac{\frac{ny_2 + my_3}{m+n} + \frac{ny_3 + my_1}{m+n} + \frac{ny_1 + my_2}{m+n}}{3}$$

$$= \frac{\frac{m(y_1 + y_2 + y_3) + n(y_1 + y_2 + y_3)}{m+n}}{3}$$

$$= \frac{(m+n)(y_1 + y_2 + y_3)}{3(m+n)}$$

$$= \frac{y_1 + y_2 + y_3}{3}$$

よって, △PQRの重心の座標も

$$\left(\frac{x_1 + x_2 + x_3}{3}, \frac{y_1 + y_2 + y_3}{3}\right)$$

となるので、2つの三角形の重心は一致する.

5.

(1)

i) *ab* ≠ 0のとき

直線OHは直線lに垂直なので、その方程式は bx - ay = 0

となる.

点Hはこの直線とlの交点である.

$$\begin{cases} ax + by + c = 0 \cdot \cdot \cdot \text{ } \\ bx - ay = 0 \cdot \cdot \cdot \text{ } \text{ } 2 \end{cases}$$

を解くと

②×b +) 
$$b^2x - aby = 0$$
  

$$(a^2 + b^2)x = -ac$$

$$x = -\frac{ac}{a^2 + b^2} \cdot \cdot \cdot \cdot 3$$

②より, 
$$y = \frac{b}{a}x$$

これに③を代入して

$$y = \frac{b}{a} \cdot \left( -\frac{ac}{a^2 + b^2} \right) = -\frac{bc}{a^2 + b^2}$$

よって,点Hの座標は

$$\left(-\frac{ac}{a^2+b^2}, -\frac{bc}{a^2+b^2}\right) \cdot \cdot \cdot 4$$

ii) a=0,  $b\neq 0$ のとき

直線の式は,  $y = -\frac{c}{b}$ となるので, 点 H の座標は,

$$\left(0, -\frac{c}{b}\right)$$
となり、④はこれを満たす.

iii)  $a \neq 0$ , b = 0のとき

直線の式は,  $y = -\frac{c}{a}$ となるので, 点 H の座標は,

$$\left(-\frac{c}{a}, 0\right)$$
となり、④はこれを満たす.

以上より,点Hの座標は

$$\left(-\frac{ac}{a^2+b^2}, -\frac{bc}{a^2+b^2}\right)$$

$$(2) OH = \sqrt{\left(-\frac{ac}{a^2 + b^2}\right)^2 + \left(-\frac{bc}{a^2 + b^2}\right)^2}$$

$$= \sqrt{\frac{a^2c^2 + b^2c^2}{(a^2 + b^2)^2}}$$

$$= \sqrt{\frac{c^2(a^2 + b^2)}{(a^2 + b^2)^2}}$$

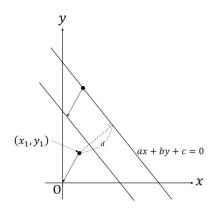
$$= \sqrt{\frac{c^2}{a^2 + b^2}}$$

$$= \frac{\sqrt{c^2}}{\sqrt{a^2 + b^2}}$$

$$= \frac{|c|}{\sqrt{a^2 + b^2}}$$

6.

与えられた点と直線を、x軸方向に $-x_1$ 、y軸方向に $-y_1$ だけ平行移動すると、点 $(x_1, y_1)$ は原点に、直線は $a(x+x_1)+b(y+y_1)+c=0$ に移る.



移動した直線の方程式を整理すると

$$ax + ax_1 + by + by_1 + c = 0$$

$$ax + by + (ax_1 + by_1 + c) = 0$$

dは, この直線と原点との距離に等しいので,

**5.**より

$$d = \frac{|ax_1 + by_1 + c|}{\sqrt{a^2 + b^2}}$$

である.